



環境の森センター・きづがわ建設に向けて

～ “環境の森センター・きづがわ”は、皆さんの日常生活に欠くことのできない施設です～

市では、打越台環境センター（精華町内）に代わる新たなごみ焼却施設として“環境の森センター・きづがわ”（鹿背山地内）の建設に取り組んでいます。

平成28年5月に建設工事に着手して以来、1年が経

過しました。その間、工事が進むにつれて、建設現場の様子も大きく変わっています。

今月は、現在までの建設現場の様子と5月の建設工事の様子をお伝えします。

現在までの建設現場の様子



平成28年5月
現場事務所の設営



平成28年10月
ごみピット掘削完了後、建物基礎工事



平成29年5月
鉄骨組み立て

建築工事では、建物の壁・床の整備を進めています

4月の工事で、プラント部分を残して、建物の鉄骨の組み立てが完了しました。

5月から、建物の柱や壁、床板の整備に取り組んでいます。プラントホーム部分やごみピット部分等の区分ごと

に配筋・型枠工事をおこない、型枠にコンクリートを打設して、壁や床板を造ります。建物の外周部分では、1階の外壁ができて上がりました。引き続き、工事をおこない5階まで造り上げていきます。

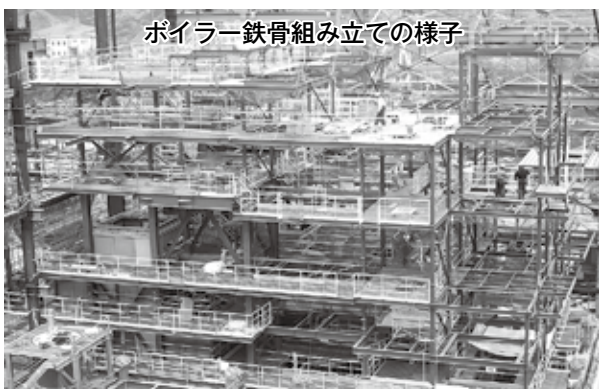
ボイラー鉄骨の組み立て、飛灰処理設備を搬入・設置しました

プラント工事では、ボイラー設備を取り付けるための鉄骨を組み立てました。ボイラーは、ごみを焼却することで発生する熱を利用して、蒸気を発生させるための設備です。

飛灰処理設備では、飛灰貯留槽・混練機などを設置しました。この設備は、ごみ燃焼ガスを処理する過程で発生す

る焼却灰を薬剤処理するための設備です。集じん器等で捕集された灰を集約して、薬剤と混和させた後、焼却灰を一時的に貯留する灰ピットまで運びます。

鉄骨やプラント機器の搬入に際しては、道路沿道の皆さんにご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。



ボイラー鉄骨組み立ての様子



飛灰処理設備搬入時の様子

“環境の森センター・きづがわ”の早期稼働に向けて、地元の皆さんをはじめ市民の皆さん、1人ひとりのご理解とご協力をお願いします。